

★これも気になる 一般質問

各ページに掲載
できなかった、
これだけは言いたい
事を集めて

Q 災害時の罹災証明発行等に有効な「被災者支援システム」導入の進捗状況は。(影岡議員)

A 県内統一の「被災者生活再建支援システム」の運用を平成32年度から開始する。
初期投資157万3千円、ランニングコスト5年間の運用保守費負担金が90万6千円。

Q 松前町の観光事業の今後の見通しは。(藤岡議員)

A 当町の観光地としての知名度は低いですが、イメージアップ戦略(イメージソングの制作発表、プロモーションビデオの制作など)の効果や、住民の活動が活性化し住民主体の観光協会の設立に繋がることを期待している。

Q 二名保育所の閉園時期とその後の利用は。(加藤議員)

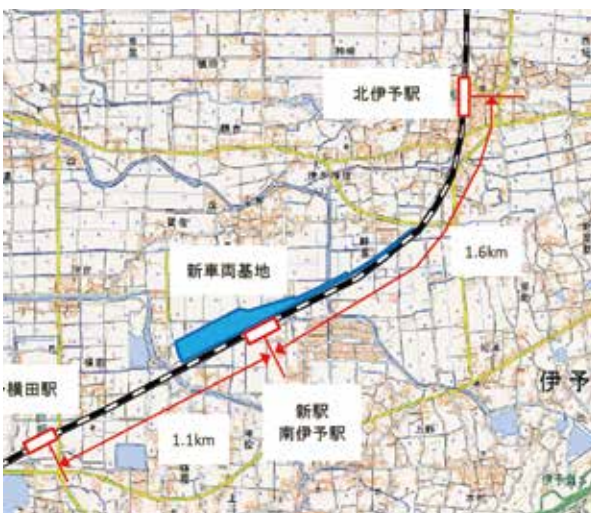
A 閉園は平成32年3月で、その後は取り壊す。
徳丸、中川原、出作の選挙投票場は、松前町選挙管理委員会と調整し決定する。

Q 『気軽に子どもを遊ばせる公園が少ない』という事がママ友の間でよく話題になると聞く。若者移住促進に影響する課題とも思うが、考えは。(金澤議員)

A 公園は重要な施設と認識している。町が保有している空き地等で、仮に地域や周辺に公園が無い場合は、一定の条件はあるが、可能であれば簡易的に実施することは可能と考える。また国交省主導の重信川等の河川敷を活用した公園整備の呼びかけもある。将来的に検討の余地があると考えている。

Q 公共施設等総合管理計画の進捗と、40年で400億の根拠は。(加藤議員)

A 今後10年間で計画期間とした各施設の改修計画や改修費用の見込みを取りまとめている。
今年度中に策定する。今後40年間で400億円、1年当たり10億円という経費は、各施設を個別調査して積み上げたものではなくて、総務省の単価を用い、現施設をそのままの規模で建て替えた想定した場合の概算金額だ。



南伊予駅



現在、鶴吉に建設が進むJR車両基地の南側に新駅の開設が予定されています。
昨年12月「北伊予駅と伊予横田駅の間に平成32年の春『南伊予駅』が誕生する」と発表されました。
地域活性化と利便性の向上が期待されています。

★南伊予駅の誕生で
耳より情報